
平成20年度アジア情報研修 韓国関連情報の調べ方

平成20年11月20日(木)
国立国会図書館関西館
アジア情報課

はじめに

- 韓国は、国家的に情報資源のデジタル化に取り組んでいる。
- 多くの情報をインターネットで入手できる。論文の原文が公開されていることも非常に多い。
- 日常のレファレンスでインターネットサイトを活用することができる。
- レファレンスで特に役立つサイトと、求める情報へのアクセス方法を紹介。

本日の構成

- 1 Asia Links
- 2 所蔵を調べる
 - 2-1 日本国内の所蔵
 - 2-2 韓国での所蔵
 - 2-3 学術論文・雑誌記事
- 3 テーマ別に調べる
 - 3-1 新聞記事
 - 3-2 政府刊行物
 - 3-3 統計
 - 3-4 歴史資料
 - 3-5 人物情報
 - 3-6 法律
 - 3-7 企業情報

1 Asia Links

http://www.ndl.go.jp/jp/service/kansai/asia/link/asia_05link.html

- 国立国会図書館トップページ(<http://www.ndl.go.jp/>)>調べ案内>アジア情報室>AsiaLinks-アジア関係リンク集-
- アジア56カ国・地域のインターネットサイト約8,200のリンク集。
- 「国・地域別に調べる」「機関別に調べる」「テーマ別に調べる」
- これから紹介する韓国のサイトに、アドレス入力・ハンゲル入力なしでアクセスできる。

Asia Linksトップページ

AsiaLinks - アジア関係リンク集 - | アジア情報室 | 国立国会図書館 - National Diet Library - Microsoft Internet Explorer

ファイル(F) 編集(E) 表示(V) お気に入り(A) ツール(T) ヘルプ(H)

戻る 検索 お気に入り

アドレス(D) http://www.ndl.go.jp/jp/service/kansai/asia/link/asia_05link.html

移動 リンク

国立国会図書館関西館アジア情報室 国立国会図書館 | 関西館 | NDL-OPAC | アジア言語OPAC

AsiaLinks アジア関係リンク集

アジア情報室ホームページのアンケートにご協力ください。(2008/7/15-2008/9/30)

English

Google™カスタム検索 検索

★AsiaLinksのページ内検索

機関別に調べる	国・地域別に調べる			テーマ別に調べる
政府機関など 国際機関 立法機関 行政機関 司法 政党 王族 大使館 地方自治体	アジア全体			書誌・所蔵 出版情報 雑誌記事・論文 学位論文 新聞記事 法律 政府刊行物 ビジネス・企業情報 統計 人物 民族・歴史・宗教 地名・地図 国旗・国歌 暦 科学技術 自然科学 芸術・文学 言語・辞書 写真 観光
	東アジア	南アジア	中東・北アフリカ	
文化施設 図書館 博物館・美術館	韓国 北朝鮮 中国 香港・マカオ 台湾 モンゴル	パキスタン インド バングラデシュ スリランカ アフガニスタン ネパール モルディブ ブータン	トルコ キプロス イスラエル イラン エジプト シリア レバノン ヨルダン イラク サウジアラビア クウェート イエメン オマーン バーレーン カタール アラブ首長国連邦 チュニジア	
学術機関・団体 大学 研究機関 学会 各種機関・団体	東南アジア	中央アジア		
出版 書店 出版社	フィリピン インドネシア 東ティモール マレーシア シンガポール ブルネイ	グルジア アルメニア アゼルバイジャン カザフスタン ウズベキスタン タジキスタン キルギス		

国立国会図書館

ページでエラーが発生しました。

JP CAPS KANA

2 所蔵を調べる

- 2-1 日本国内の所蔵
- 2-2 韓国での所蔵
- 2-3 学術論文・雑誌記事

2-1 日本国内の所蔵

- 国立国会図書館
 - アジア言語OPAC(1)
- 国内他機関
 - NACSIS Webcat
 - アジア情報機関ダイレクトリー(2)

(1) アジア言語OPAC

<http://asiaopac.ndl.go.jp/>

- 国立国会図書館トップページ＞資料の検索＞アジア言語OPAC ⓘ
- 国立国会図書館が所蔵するアジア言語資料を検索できる。
- ハングルの分かちで検索する。書名等に漢字が含まれていれば、漢字でも検索できる。日本語訳をつけている資料は、日本語からでも検索できる。
- 所在が「書庫図書」となっている資料は、図書館間貸出が可能。

アジア言語OPACトップページ

国立国会図書館アジア言語OPAC - Microsoft Internet Explorer

ファイル(F) 編集(E) 表示(V) お気に入り(A) ツール(T) ヘルプ(H)

戻る 検索 お気に入り

アドレス(D) http://asiaopac.ndl.go.jp/ 移動 リンク

国立国会図書館アジア言語OPAC 国立国会図書館 NDL-OPAC アジア情報室 English HELP
All Rights Reserved, Copyright (c) National Diet Library 2002

ワード検索

戻る Help

Top Menu

- ・書名、著编者、シリーズ名に含まれる単語などでの検索を行います。「書名」「著编者」「フルタイトルキー」「全て」「ISBN/ISSN」「分類番号」「出版者」「出版年」のいずれかを選択して「条件」欄に検索語を入力し、「検索」ボタンを押してください。
- ・複数の単語をスペース(空白)で区切って検索するとAND検索になります。
- ・後ろに「*」をつけた場合、前方一致検索します。
- ・英語の冠詞、接続詞、前置詞、助詞は検索語にはできません。
- ・大文字・小文字、ひらがな・カタカナ、全角・半角、濁音・清音、促音・拗音は区別なく検索できます。
- ・中国語資料は漢字形、日本語カナ読み、ピンイン読みで検索できます。
- ・上海新華書店旧蔵書(請求記号:XP-*.**)は漢字形、ピンイン読みで検索できます。
- ・漢字形は日本漢字、簡体字、繁体字のいずれの字体を入力してもヒットします。
- ・朝鮮語資料はハングルで検索できます。書名・著编者に漢字が含まれていれば漢字でも検索できます。
- ・その他のアジア言語資料は原綴り、ローマ字のいずれでも検索できます。

全文 ワード 請求番号/資料ID 分類 履歴

条件 書名

条件 著编者

検索結果を 20 件ごとに表示する

クリア 検索

以下の条件を 含む 含まない 使わない

出版者 図書/雑誌 言語

全て 全て

ページが表示されました JP

(2) アジア情報機関ダイレクトリー

<http://www.ndl.go.jp/jp/service/kansai/asia/directory/index.html>

- 国立国会図書館トップページ＞調べ案内＞アジア情報室＞アジア情報機関ダイレクトリー 
- 日本国内でアジア関係資料を所蔵する機関を一覧にしたダイレクトリー
- 朝鮮語資料を所蔵する機関を一覧できる。
- 各機関・各OPACのURLへリンクを張っている。

アジア情報機関ダイレクトリートップページ

アジア情報機関ダイレクトリートップページ | アジア情報室 | 国立国会図書館 - National Diet Library - Microsoft Internet Explorer

ファイル(F) 編集(E) 表示(V) お気に入り(A) ツール(T) ヘルプ(H)

戻る 検索 お気に入り

アドレス(D) http://www.ndl.go.jp/jp/service/kansai/asia/directory/index.html

国立国会図書館関西館アジア情報室 国立国会図書館 | 関西館 | NDL-OPAC | アジア言語OPAC

アジア情報機関ダイレクトリートップページ

- ▶ [アジア情報機関ダイレクトリートップページについて](#)
- ▶ [参加機関一覧\(五十音順\)](#)
- ▶ [凡例](#)

アジア情報室ホームページのアンケートにご協力ください。(2008/7/15-2008/9/30)

ダイレクトリートップ内検索

Google™カスタム検索

■ 機関名から探す

[あ行](#) [か行](#) [さ行](#) [た行](#) [な行](#) [は行](#) [ま行](#) [や行](#) [ら行](#)
[わ行](#)

■ 所在地から探す

[北海道・東北](#) [東京](#) [関東\(東京を除く\)](#) [北陸・中部](#) [近畿](#)
[中国・四国](#) [九州・沖縄](#)

■ 機関の種類から探す

[国立図書館](#) [公共図書館](#) [大学図書館](#) [専門図書館](#)
[研究機関](#)

■ 対象地域から探す

[中国\(香港・マカオ・台湾を含む\)](#) [韓国](#) [北朝鮮](#)
[東アジア\(中国・韓国・北朝鮮を除く\)](#) [旧外地](#)
[東南アジア](#) [南アジア](#) [中東・北アフリカ](#) [中央アジア](#)

■ 所蔵資料の言語から探す

- ▶ **東アジアの言語**
[チベット語](#) [中国語](#) [朝鮮語](#) [モンゴル語](#) [その他](#)
- ▶ **東南アジアの言語**
[インドネシア語](#) [クメール語\(カンボジア語\)](#) [タイ語](#)
[タガログ語\(フィリピン語\)](#) [ビルマ語](#) [ベトナム語](#) [マレーシア語](#)
[ラオ語](#) [その他](#)
- ▶ **南アジアの言語**
[ウルドゥー語](#) [サンスクリット語](#) [シンハラ語](#) [タミール語](#) [パーリ語](#)
[ヒンディー語](#) [ベンガル語](#) [その他](#)
- ▶ **中東・北アフリカの言語**
[アラビア語](#) [トルコ語](#) [ヘブライ語](#) [ペルシア語](#) [その他](#)

ページが表示されました

JP CAPS KANA

2-2 韓国での所蔵

- 国立中央図書館(3)
- 国会図書館(4)
- RISS(学術研究情報サービス)(5)
- KOLIS-NET(国家資料共同目録システム)(6)

※ホームページへのアクセス方法

- AsiaLinks > 「韓国」「書誌・所蔵」を選択 

2-2 韓国での所蔵

- 韓国国内に資料の存在が確認できた場合、国立中央図書館に直接複写を申し込むことができる。
- 複写申し込み方法は、国立国会図書館アジア情報室＞海外の図書館の複写サービスのご案内(http://www.ndl.go.jp/jp/service/kansai/asia/contents/asia_copyinfo_kor.html)に掲載

(3) 国立中央図書館

<http://www.nl.go.kr/>

- 韓国最大規模の図書館。639万冊所蔵。
- トップページ中央の「자료 찾기」(資料検索)と書かれた検索窓に検索語を入力し、「검색」(検索)をクリックすると、検索結果が表示される。
- 「図書」「学位論文」「図書の目次」「逐次刊行物」「逐次刊行物の記事索引」等の統合検索が可能。
- 「목차」(目次)の欄に青色のマークが表示されている資料は、目次を閲覧できる。

(4) 国会図書館

<http://www.nanet.go.kr/main/index.jsp>

- 韓国の議会図書館。図書260万冊・逐次刊行物2万2000タイトル所蔵。
- トップページから「전자도서관」(電子図書館)を選択すると、所蔵資料検索画面へ遷移する。
- 「図書」「学位論文」「逐次刊行物」「逐次刊行物の記事索引」等の統合検索が可能。
- 「인터넷자원」(インターネット資源)で検索できた資料は、会員登録すれば、無料で原文をPDF形式でダウンロードできる。

(5)RISS(学術研究情報サービス)

<http://www.riss4u.net/index.jsp>

- 韓国教育学術情報院(KERIS)が運営。
- 韓国の大学図書館で所蔵する、「図書」「学位論文」「逐次刊行物」「逐次刊行物の記事索引」等の統合検索が可能。
- トップページ中央の検索窓に検索語を入力し、「검색」(検索)をクリックすると、検索結果が表示される。
- 検索結果画面で、タイトルをクリックすると、書誌事項や所蔵大学図書館が表示される。
- 「원문보기」(原文を見る)と赤色で表示されている資料は、会員登録すれば、無料で原文が閲覧できる。

(6) KOLIS-NET(国家資料共同目録システム)

<http://www.nl.go.kr/kolisnet/index.php>

- 韓国の公共図書館のオンライン総合目録。
- トップページから「KOLIS-NET검색」(KOLIS-NET検索)を選択すると、検索画面へ遷移する。
- 図書・学位論文・逐次刊行物等の検索が可能。

2-3 学術論文・雑誌記事

- KSI学術論文情報(7)
- DBpia(8)
- 学会のホームページ(9)
- 国立中央図書館
- 国会図書館
- RISS(学術研究情報サービス)

(7) KSI 学術論文情報 (Korea Studies Information)

<http://www.papersearch.net/>

- 韓国学術情報(株)が提供する学術論文のデータベース。
- 韓国国内発行の学術誌に掲載された約85万件の学術論文が検索できる。
- すでに掲載誌名が分かっているときは、「간행물검색」(刊行物検索)が便利。
- 原文をすべて見るのは有料だが、会員登録すれば、最初の2ページのみ無料で閲覧できる。

(8) DBpia

<http://dbpia.co.kr/>

- (株)ヌリメディアと(株)教保文庫が提供する学術論文のデータベース。
- 韓国国内発行の学術誌に掲載された約96万件の学術論文が検索できる。
- すでに掲載誌名が分かっているときは、「간행물검색」(刊行物検索)が便利。
- 原文を見るのは有料だが、目次、抄録のみ無料で閲覧できる。

(9)学会のホームページ

- 学会誌は出版者である学会のホームページで原文を閲覧できることが多い。
 - 学会のトップページにアクセスし、「간행물」(刊行物)・「학회지」(学会誌)の表示を探す。
 - 例:大韓地理学会「大韓地理学会誌」
韓国水産学会「韓国水産学会誌」
パンソリ学会「パンソリ研究」
- ※主要な学会のホームページへのアクセス方法
- AsiaLinks > 「韓国」「学会」を選択 

3 テーマ別に調べる

- 3-1 新聞記事
- 3-2 政府刊行物
- 3-3 統計
- 3-4 歴史資料
- 3-5 人物情報
- 3-6 法律
- 3-7 企業情報

3-1 新聞記事

- KINDS(10)
- 各新聞社のホームページ
例:朝鮮日報社(11)

※各新聞社のホームページへのアクセス方法

- AsiaLinks > 「韓国」「新聞・ニュースサイト」を選択(日本語版サイトがある新聞社もある) 

(10)KINDS(Korea Integrated News Database System) <http://www.kinds.or.kr/>

- 韓国言論財団が提供する新聞記事のデータベース。
- 全国紙(ソウル発行紙)9紙・地方紙25紙・経済紙6紙について、1990年以降の新聞記事を無料で検索・閲覧できる。
- 新聞紙名・日付・キーワード等からの検索が可能。
- 新聞記事は、テキスト形式で表示され、写真・グラフ等は見ることができない。
- 1990年以前の新聞紙面もPDF形式で閲覧できる。(一部の新聞紙のみ)

(11)朝鮮日報社

<http://www.chosun.com/>

- トップページ右側の「PDF보기」(PDFを見る)をクリックすると、記事検索画面へ遷移する。
- 1945年から現在までの記事を、日付・キーワードから検索できる。
- 会員登録すれば、有料で原文を閲覧することができる。

3-2 政府刊行物

- 行政機関のホームページ(12)
- 国会図書館
- 国家記録ポータル(13)
- 国家知識ポータル(14)

(12-1) 行政機関のホームページ

- 政府刊行物は出版者である行政機関のホームページで原文を閲覧できることが多い。
- 例: 国防部「国防白書」
 国税庁「国税統計年報」
 釜山広域市「市政白書」

(12-2) 行政機関のホームページ

※各行政機関のホームページへのアクセス方法

- AsiaLinks > 「韓国」「行政機関」を選択 
- 「広域市」「道」などの地方自治体は、「地方自治体」を選択する。
- 行政機関のトップページにアクセスし、「간행물」(刊行物)、「자료실」(資料室)の表示を探す。

(13) 国家記録ポータル

<http://contents.archives.go.kr/>

- 国家記録院(日本の国立公文書館に相当)が作成した、公文書・政府刊行物等のデータベース。
- キーワード、主題別、組織別等の検索が可能。
- 一部の資料は原文をオンラインで提供しているが、原文の閲覧には、会員登録が必要。

(14) 国家知識ポータル

<http://www.knowledge.go.kr/main.jsp>

- 韓国の50種類以上のデータベースを横断検索できるポータルサイト。
- キーワード、主題別、データベース別等の検索が可能。
- 検索結果表示画面には、各データベースへのリンクが張られている。
- 原文を閲覧できるデータベースも多い。

3-3 統計

- 国家統計ポータル(15)
- 経済統計システム(<http://ecos.bok.or.kr/>)
→韓国銀行提供。通貨、金利、物価、国民所得等について調べるのに便利。
- 貿易統計(<http://stat.kita.net/main/stat/main.jsp>)
→韓国貿易協会提供。相手国別・製品別の輸出額・輸入額等について調べるのに便利。

(15) 国家統計ポータル

<http://www.kosis.kr/>

- 統計庁作成。
- あらゆる分野の統計を網羅して収録している。
- 「주제별 통계」(主題別統計)から、調べたい統計を選んでいく方法が便利。
- 統計表は自由にエクセルでダウンロードできる。
- 英語版(<http://www.kosis.kr/eng/index.html>)もあるが、統計項目が韓国語版より少ない。

3-4 歴史資料

- 韓国歴史情報統合システム(16)
 - 国史編纂委員会、韓国学中央研究院、ソウル大学奎章閣韓国学研究院など19機関が構築したデータベースを横断検索できるシステム。
 - 歴史史料、古文書、1945年以前の新聞・雑誌などのデータベースにアクセスできる。

(16) 韓国歴史情報統合システム

<http://www.koreanhistory.or.kr/>

- トップページ中央の検索窓にキーワードを入力して検索する。
- または、トップページ右側「디렉토리」(ディレクトリー)から調べたい項目を選択する。
- 原文を閲覧できるデータベースも多い。
- 特に逐次刊行物が充実している。(雑誌102タイトル、新聞91タイトル)

3-5 人物情報

- 人物情報が無料で検索できるインターネットサイトが多数公開されている。

※人物情報が公開されているホームページへのアクセス方法

- AsiaLinks > 「韓国」「人物」を選択 
- 氏名・職業・所属・生年月日・学歴・職歴などの基本情報は無料で見られるものが多い。

3-6 法律

- 総合法令情報センター(17)
- <http://klaw.go.kr/>
- 法制処(日本の内閣法制局に相当)が構築している法令データベースシステム。
- 韓国で公布された法令の条文を無料で検索・閲覧できる。
- 法令名・主題語・公布日付・公布番号・法令分類からの検索が可能。

3-7 企業情報

- 各企業のホームページ
- 電子公示システム(18)
- 証券先物取引所(19)

※企業の簡単な概要、詳しい財務情報を知りたいときなどに、ウェブ情報源を活用できる。

(18) 電子公示システム

<http://dart.fss.or.kr/>

- 金融監督院提供。
- 企業の事業報告書(有価証券報告書に相当)・監査報告書等を無料で検索・閲覧できる。
- トップページ「회사명」(会社名)の欄に、会社名を入力して検索すると、その会社が提出した報告書の一覧が表示される。
- 検索結果表示画面で、会社名をクリックすると、代表者名・設立日・住所・電話番号・URL等が表示される。

(19)証券先物取引所

<http://sm.krx.co.kr/index.html>

- 企業の公示事項を無料で検索・閲覧できる。
- トップページから「상장/공시/리서치」(上場/公示/リサーチ)→「공시검색」(公示検索)を選択すると、公示事項の検索画面に遷移する。
- 「종목검색」(種目検索)の欄に会社名を選択入力して、「조회」(照会)をクリックすると、その会社の公示事項の一覧が表示される。